

3月議会定例会

一般質問

市政に対する質問・提言

3月議会定例会では、9人の議員が一般質問を行いました。各議員の質問と理事者の答弁の概要は次のとおりです。

問 県の重点政策である観光事業の拡大に対する土岐市の取り組みは

答 観光拡大事業、郷土の魅力を掘り起こす県民運動を、焼き物文化を初めとした地域情報を内外に発信する機会と位置づけ、積極的に取り組んでいく。

問 土岐市における地域ブランドについて

答 新たな美濃焼商品群の開発を目標に、地域ブランドアドバイザー派遣事業を展開。織部ヒルズブランド構築事業高強度磁器ブランド化事業に取り組んでいる。

問 地域ブランドマーク設置について

答 地域イメージ向上のため歴史や文化、産業などの背景を考慮し、十分な協議を重ね今



高井由美子

観光事業施策及び地域ブランドについて
妊産婦無料健診の回数の拡大について
マタニティマークの作成について

問 国による妊産婦健診費用の助成拡充に市の対応は

答 平成十九年度は従来どおり実施し、二十年度以降について県医師会や関係機関と協議、検討していく。

問 妊産婦に優しい環境づくりを推進するためにマタニティマークの作成のお考えは

答 平成十九年から妊婦の皆さんが周囲にわかり易いようにバッグや衣服につけるものを配布し、広報等でマークの普及・啓発に努めたい。

問 高田鉱山の不法開発で土岐市域が侵害されている事件について
プラスマリサーチパーク内の映画館（シネコン）構想について

高田 鉱山 保

後取り組む課題と考える。

問 総務部長 通報を受け多治見市とともに現地の測量を行い、泉町久尻の市有地への境界侵犯を確認した。早速高田陶磁器工業組合に原形復旧を強く申し入れ、場合によっては法的処置も考えていると伝えた。今後は多治見市や県農林事務所と連携を深めながら対応していきたい。

問 シネコンと温浴施設の募集がかけられ、四月には締結に至りたい、との市長答弁で市民の期待は一気にふくらみ、実現を心待ちにする声が一層高まっている。出来るのはいつくらいなのか？

答（企画部長）都市再生機構から「応募が予定されていた事業者の諸事情で、公募スケジュールが先延ばしになる」との連絡があった。現在機構と事業者の間で調整中であり、市としては調整を見守っているところである。E街区で想定している機能や具体的内容には変わりはない。

形復旧と赤道の修復を求めるときと思うがどうか。

答（総務部長）通報を受け多治見市とともに現地の測量を行い、泉町久尻の市有地への境界侵犯を確認した。早速高田陶磁器工業組合に原形復旧を強く申し入れ、場合によっては法的処置も考えていると伝えた。今後は多治見市や県農林事務所と連携を深めながら対応していきたい。

問 日本共産党の提案にもとづく質問「妊産婦、乳幼児の命と健康 医師の抜本増員 勤務医の安心して働ける環境整備 地域医療の立直し 不足地域・診療科への医師派遣などの提案についてどうか？」

答（病院長）政策としては妥当だが、実現の可能性は少ないのではないか。問題は診療

総合病院を中心とした「地域医療」をどう守るか

日比野とみほる



科も勤務先も医師の選択権に任されており強制することの出来ない現状があること。

問 国の政策改悪での元で現場での混乱を招いているのではないか。

答(病院長) 受診抑制は窓口負担が実質五割もふえたことによると思われるし、療養病床削減計画など厚労省政策の一環であり在宅療養がふえ、患者家族の負担が非常に増え、老人夫婦においては共倒れの危険性を予測している。

また資格証明書による受診例もある。別に未集金は一年前に急激に増えている。

問 今年度の赤字見込みが三億〜四億円、診療科縮小など市民不安どうこたえるか。総合病院としての将来展望は？

答(病院長) 赤字は減価償却分がまかなえない状況。集中改革プランを一通過点とし発展させる。病診連携のさらなる強化など支援病院を目指す。

陶彫展の作品について



森 信行

問 市内のあちらこちらにある陶彫展の作品は、土岐市が誇り得る、すばらしい作品の数々であると思います。

一朝一夕によるものではなく、多年にわたって全国の陶彫家が、心血をくだいた作品である事には間違いありません。このすばらしい、一面では土岐市の宝であるとも思われます。

これらの陶彫の数は、土岐市に何体くらいあるのでしょうか。又その所有権などは、いかがなっておりますか？
街起こしに陶彫を前面に、市の活性化を考えられないだろうか？

答(教育長) 陶彫展で九四点、ユーモア陶彫展で五十点、計一四四点の作品があり、その所有権はすべて土岐市にあり

ます。

答(市長) 土岐市の陶彫展は作品がその市に残っている事であり、最近陶彫家の間では、土岐市の日本現代陶彫展に入賞したとか、入選したとか、など、経歴の箔付けにもなっている様です。

街角に詩情があふれ文化豊かな土岐市をめざして来られた事は、市民の方々の理解のおかげであると思っております。



税源移譲と市の財政状況について
子育て支援の実態と問題点について
企業誘致への期待と不安について



おぜき祥子

問 定率減税の廃止や税源移譲で庶民大増税となるが、市税収入や交付税収入への影響は基本的には変わらない。今

後は厳しいものがある。歳入の確保のため、今後は差し押さえや給水停止等も検討

問 放課後教室と学童保育の一本化や給食費の滞納と就学助成制度の申請状況は

答 地域子育て支援拠点事業として、県では中学校区に

「地域子育て支援センター」を整備。国の「放課後子どもプラン」の補助対象事業として採択される見込み。給食費未納で「法的措置」も視野に入れた対策を。就学助成制度は、十五年度九十一件の申請で七十九件認定、十六年度九十九件の申請で九十一件認定、十七年度九十九件の申請で八十五件認定。民生委員の状況調査は必要と。

問 大企業呼び込みのために、税金を付けてやった、補助金をばらまくといった「逆立ち政治」をやめるべきでは

答 優良な他産業を誘致して複合型の産業を目指す。企業立地を促進させ、雇用の拡大、市税の増収にも。土岐アクアシルヴァの開発面積は一〇

一、四ha、平地面積は約四〇

ha、十一区画の工業用地を造成。工事は十九年度中の着工予定、工期は約一年間。

土岐市曾木で基準の二・六倍のダイオキシン検出、今頃なせばイデンパークSOGEOーブーン一周年間近
独居老人とふれあい・いきいきサロン



はやみ 宗一

問 土岐市曾木町で基準の二・六倍のダイオキシン検出の記事・六年前の一般質問の答弁と違うのではないか、市と県の今後の対応は、市内に産廃の最終処分場は何力所あるのか。

答(経済環境部長) 前からの一般質問を全部熟読しました。県と話を進めましたら、当時土壌検査とくっつてあるのが焼却灰を中心に検査したのを発表したのではないか。これ以上詳しい事は言えませんが、県と土岐市で曾木町土壌汚染緊急対策会議を開催して、掘削調査、地下水・河川水調査を実施し、行為者にシートをかけるよう指導し実

施していただきました。市内にミニ処分場は五カ所あります。

毎月、県と同行して不適正パトロールを実施しております。

問 パーデンパークSOGIオープン一周年間近・いろいろな不具合が出てきているが総合監理、設計の丹羽設計との保証期間と今後の対応は。

答(市民部長) 機械の故障、調整や操作上の問題などがあり、大変ご迷惑をかけましたが順次対応しております。保証期間は二年間です。

問 いきいきサロンを続けて。市内各所に広がって行くよう考えております。



公的資金の繰上げ償還について
学校給食費未納について
広報ときの配布について
市長二十四年間の回顧

塚本しゅんいち

問 土岐市において、公的資金の金利5%以上の借入れは使途別にどのくらいあるか。

答 一般会計で四億九千七百万円、下水道で三十七億一千万円、水道で八億五千九百万円、病院事業で二十二億二千万円で合計七十二億八千七百万円です。

問 保証金なしの繰上げ償還を考えているか。

答 厳しい条件があるが、実施する方向で検討する。

問 繰上げ償還した場合どのくらい利子負担が少なくなるか。

答 合計で約二十二億八千八百万円と試算している。

問 給食費の未納実態は。

答 平成十九年一月末現在、〇・九%の滞納で五百二十五万二千円の未納があり徴収困難なものが、百五万円ほどあります。

問 どのような対策を考え実施するのか。

答 保護者・市民に周知を図る督促状を送付する。法的措置を検討する。PTAの協力は不可分である。

問 広報ときの配布部数は。

答 自治会を通して、一万七千四百部です。

問 市内のコンビニに広報ときを置いたらどうか。

答 検討してまいりたい。

問 市長二十四年間の思い！

答 信条による市政をしてきた。



各地で金属製品の盗難が相次いでいるなか、土岐市の資源回収の空き缶も持ち去られている現状を踏まえ、市の今後の対応と対策について。

小栗 恒雄

問 土岐市では他市に先駆け資源回収方式によるゴミの減量化事業に取り組んでおられます。しかし、市環境課から市内で昨年秋季ごろから、資源回収の空き缶が盗まれる被害が起きていることを聞きし、私も資源回収日の深夜、集積場所で空き缶の盗難現場の監視張り込みを実行し、空き缶を盗もうとした男たちを見つけ多治見署に通報。警察官が男たちを探し出し、無事に資源物の空き缶を取り戻すことができました。市民の心もった資源物の持去り行為に

対する市の今後の対応と対策についてご答弁ください。



資源物持去り現場

答 資源物の持去りが市内において多く発生するような状況になってきた場合には、夜間パトロールなど有効な対策を検討しており、本年一月から深夜また早朝に、職員でチームを組んで集積場所のパトロールを随時実施しているところです。今後はパトロールを強化するとともに、警察署と協議したところ、まず集積場所に資源物の所有権を表示する必要がありますが指摘され、所有権を集積場所に表示する検討をしたい。また、持去りが深夜や早朝に行われると推測され、市民の皆様は資源物は資源回

収日の朝に出してもらおうようお願いをして行きたい。



少子化対策のなか
図書館司書の専属配置と
病児・病後児保育対策をとれ

布施 素子

問 現在土岐市でもブックスタート事業がとられているがその後について有効な手立てはとられているか。市内小中学校で十二学級以上ある所に配置されている司書教諭による読書指導はどのようになっているか。効果は上がっているか。

答 先進自治体では専任司書を置いたところ、図書館利用が格段にふえたというが土岐市はどうか。

答 きめ細かな学校支援事業による非常勤講師の中から専任司書の配置はむずかしいが、県教育委員会に対し、引き続き専任司書教諭の配置をお願いしていきます。

問 病児、病後児保育は教育間